

NHK 経営委員長 石原 進 さま  
NHK 経営委員各位

## 視聴者に開かれた会長選考作業を求めます

～指名部会発足にあたって～

NHK 全国退職者有志

経営委員各位には、日頃、NHK の使命達成のために尽力されていることに敬意を表します。

靱井会長の任期切れを控えて、私たちはすでに5月と7月、二度にわたり「次期会長選任にあたって」の申し入れを提出していますが、7月26日「指名部会」が発足したこの機会に改めて、以下の申し入れをします。

2013年の靱井会長選任に際しては、改正された「NHK 会長任命にかかる内規」に基づく作業であったにも関わらず、「放送の自主自律」をわきまえず公共放送トップとしての資格を欠いた人物を会長に選んでしまった経営委員会の責任は極めて大きいと言わざるを得ません。

NHK 予算の国会承認の際、参議院総務委員会の附帯決議は、今年と昨年、2年連続で、「会長の選考については、今後とも手続の透明性を一層図りつつ、公共放送の会長としてふさわしい資質・能力を兼ね備えた人物が適切に選考されるよう、選考の手続の在り方について検討すること」を要請するという異例の事態です。

次期会長選任作業が始まるにあたって、私たちは改めて要請します。

- **密室の会長選考を改め、公募や推薦制の導入など視聴者に関かれた選考作業にすること**  
靱井氏を選任した指名部会では、各経営委員のみが自分の推薦する候補を提出しましたが、公募制などにより受信料制度を支える視聴者が会長候補を推薦する道が開かれることは、視聴者とNHKの距離を縮め、NHKへの信頼を高めることを確信します。
- **候補を一人に絞り込む前の複数候補の段階で面接を行い直接所信表明を聞く機会を作ること**  
前回の選任作業最終過程でも、候補を靱井氏一人に絞り込んで面接するまでは、推薦した以外の経営委員は、書類審査の経歴のほかは靱井氏の人となりや考えを全く知らなかったと言われていました。NHK会長は、何よりも公共放送としてのNHKの使命、立場をよく理解していることが大切です。靱井氏選任の失敗を繰り返さないためにも、候補が複数の段階で直接面接し、所信や資質を確かめる機会を不可欠と考えます。
- **指名部会議事録を会議ごとにその都度公開し、選考過程の透明性を高めること**  
「指名部会」議事録公開は、国会附帯決議の要請に応え、手続の透明性を一層図る小さな一歩として是非実現していただきたい。因みに、靱井会長選任の際の全ての議事録公開は任命議決後の2014年1月17日でした。

私たちの要望を真摯に受け止め、視聴者・市民に関かれた透明性の高い会長選考作業を進められるよう強く求めます。